

**道路情報提供装置の新設・廃止・変更等の事務手続き  
マニュアル**

**平成29年5月改訂版**

**名古屋市緑政土木局 路政部道路維持課**

## はじめに

本マニュアルは、各土木事務所が管理する道路施設（道路照明、道路標識、道路反射鏡、横断歩道橋、のり面、擁壁、カルバート、道路情報提供装置）に関して、工事・点検等に関わる全ての方々、すなわち各事業者並びに本庁・土木事務所の職員を対象とするものです。

平成26年度から電子台帳化された現在の台帳管理システムは、台帳管理を一元化し、道路施設管理に大いに活用していくものとしてスタートしましたが、その後の法定点検の制度化に対応するために、この度、マニュアルの改訂を行うこととなりました。

台帳管理にあたっては、各事業者は設置・修繕工事、各点検業務委託、事故復旧・承認工事、単価契約工事等の作業完了後に、また整理組合や開発行為等の引継時に土木事務所に電子台帳の補正データを提出します。

土木事務所は提出された補正データや市職員の直営作業によるデータの内容を確認後、それらを道路維持課に提出することで電子台帳が補正されます。併せて、同様の流れで補正データに関連する各種調書、詳細な点検結果や写真データも電子データとして道路維持課に提出します。

道路維持課では、補正された電子台帳を基に維持管理支援システムにデータを反映させ、関連する電子データを一元的に保管し、台帳管理を行います。

台帳管理は、あくまでも日々の各土木事務所で行き届く道路施設1基1基の管理がベースにあり、それらが道路維持課へ提出されることで成り立っています。本マニュアルは台帳管理の事務処理手続きを円滑に行うために、各事業者並びに本庁・土木事務所の職員が実施する各ケースの補正手続きについてとりまとめましたので、事務処理の参考に活用していただきたいと思います。



# 「言葉の定義」

1. 「道路施設」とは : 各土木事務所が管理する道路照明、道路標識、道路反射鏡、横断歩道橋、のり面、擁壁、カルバート、道路情報提供装置のこと。
2. 「新設」とは<sup>※1</sup> : 道路管理者が発注する工事により、既存の道路施設が無い所に、新しく道路施設を設置すること。
3. 「引継」とは<sup>※1</sup> : 整理組合や開発行為等により、新しく道路施設を設置し、それを道路管理者が引継ぐこと。
4. 「更新」とは<sup>※1、※4</sup> : 既存の道路施設を“全て撤去”した後に、同じ箇所になく新しくそれと同等の道路施設を設置すること。並行して“撤去”に係る「廃止」も忘れずに行う。
5. 「廃止」とは<sup>※2、※4</sup> : 既存の道路施設を“全て撤去”すること。
6. 「変更（修繕）」とは<sup>※3</sup> : 既存の道路施設の一部を取り替えたり、補修・修繕すること。
7. 「変更（移設）」とは<sup>※3</sup> : 既存の道路施設本体を、そのまま異なる箇所に移して設置すること。
8. 「変更（錯誤）」とは<sup>※3</sup> : 既存の道路施設と電子台帳の内容に相違（設置箇所の間違い、各種記録の間違い等）が発見された場合に電子台帳を修正すること。
9. 「変更（点検）」とは<sup>※3</sup> : 既存の道路施設の点検を実施し、その結果を電子台帳に記録すること。

## 【備考】

※1 上記2. ～4. は固有IDを道路維持課にて付与します。

※2 上記5. では固有IDを廃止し、今後の使用も禁止します。

※3 上記6. ～9. は既存の固有IDに対して、データ内容の変更をします。

※4 上記4. 「更新」に際しては、5. 「廃止」を並行して実施します。

## 1. 補正区分毎の補正データの提出について

表－1を参考に必要なシステム補正資料を土木事務所担当者（監督員）へ提出して下さい。土木事務所担当者は、内容を確認の上、道路維持課担当者へ提出して下さい。

表－1 道路情報提供装置の提出資料

補正区分		エクセル 台帳	点検・措置 記録表※1	竣工図 (構造図)	全景写真 (表裏)	位置図
新設・引継・更新		○	△※2	○	○	△※5
廃止		○	-	-	-	-
変更	修繕	○	○	△※3	△※4	△※5
	移設	○	-	-	○	△※5
	錯誤	○	-	-	△※4	△※5
	点検	○	○	-	-	-

※1 点検・措置記録表の様式(例)は、P.16～18を参照。

提出様式については、設計図書または土木事務所担当(監督員)の指示による。

※2 引継の場合で土木事務所担当者(監督員)から指示がある場合については提出。

※3 構造の変更を伴う修繕の場合については提出。

※4 修繕で表示内容の変更をした場合、全景写真に錯誤がある場合については提出。

※5 契約図書等に定めがある場合、土木事務所担当者(監督員)から指示がある場合については提出。

## 2. エクセル台帳

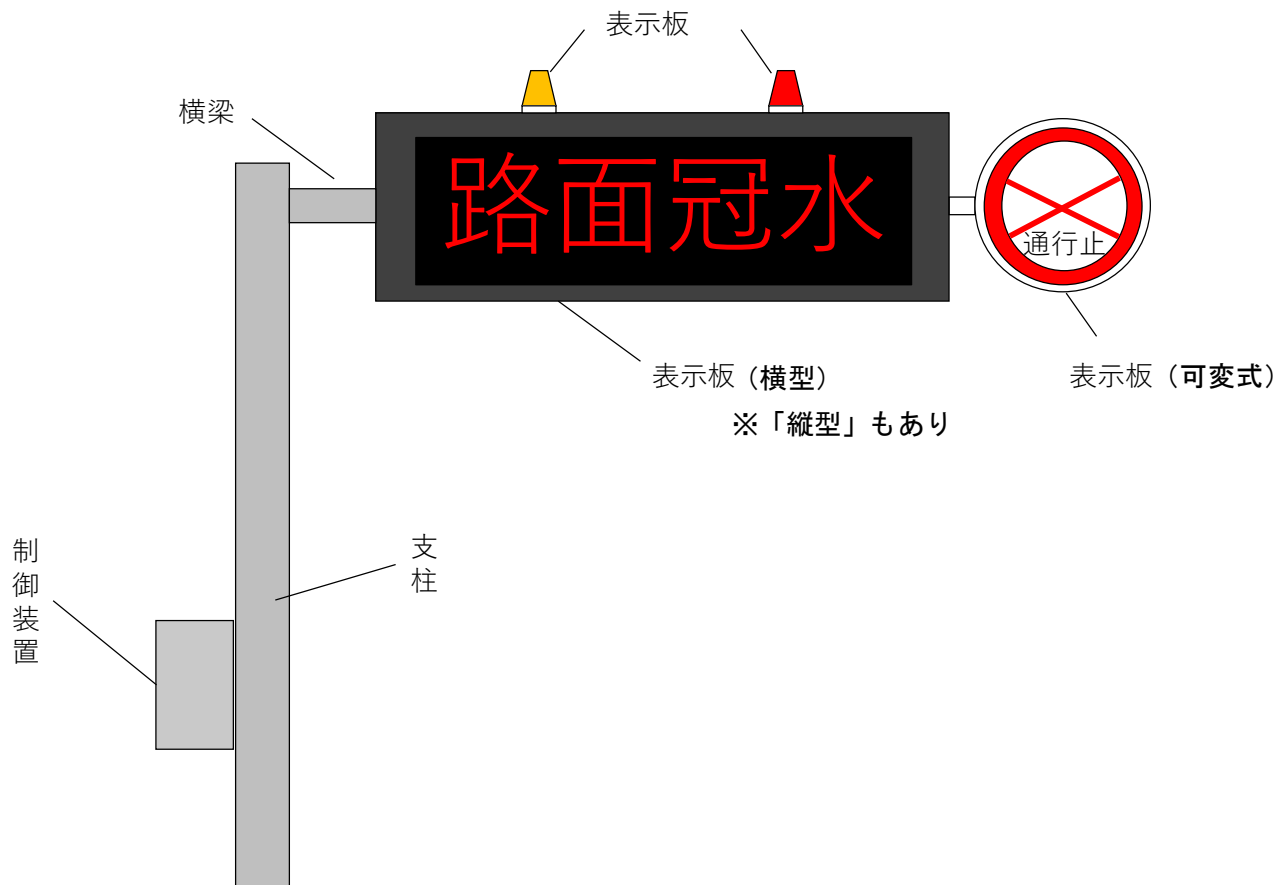
エクセル台帳とは、諸元データをはじめ、位置(座標)データ、修繕データ、点検データなどがリスト項目となったエクセルで作成した電子台帳ファイルです。

エクセル台帳には、必須入力項目と補正するデータ項目のみを入力して土木事務所担当者(監督員)に提出します。(すべての項目を入力する必要はありません)

### 3. エクセル台帳の記入方法

#### A欄：補正区分

「新設」、「引継」、「更新」、「修繕」、「廃止」、「移設」、「錯誤」、「点検」のうち、該当するものを選択する。※部材のみの更新は「修繕」、支柱の更新を含む場合は、「廃止」（既存道路情報提供装置の撤去）＋「更新」（道路情報提供装置の新設）として補正データの提出が必要となります。なお、本マニュアルでの部材名称は下図の通りです。



B欄：年月日

補正区分ごとに、表－2を参考に記入すべき日付を西暦で記入する。記入すべき日付が不明な場合は、契約工期（業務期間）がある場合は完了日、無い場合はエクセル台帳を提出した日付を記入する。

例) ○2014/4/1 ×平成26年4月1日 ×20140401 ×260401 ×2014.4.1 ×H26.4.1

表－2 補正区分毎の記入すべき日付

補正区分	記入すべき日付
「新設」	道路情報提供装置の設置工事が完了した日付(S欄と同じ日付)
「引継」	道路情報提供装置の設置工事の引継を受けた日付
「更新」	道路情報提供装置の設置工事の更新工事が完了した日付(S欄と同じ日付)
「修繕」	道路情報提供装置の設置工事の修繕工事が完了した日付(AX欄と同じ日付)
「廃止」	道路情報提供装置の撤去工事が完了した日付
「移設」	道路情報提供装置の移設工事が完了した日付
「錯誤」	道路情報提供装置の錯誤が判明した日付
「点検」	道路情報提供装置の点検が完了した日付(AS欄と同じ日付)

C欄：固有ID

固有ID「道路情報提供装置のD(半角)+2桁の区番号+5桁の番号」を記入する。

例) D0100001 →千種区の00001番の道路情報提供装置と判別する。

D欄：土木事務所

土木事務所名を選択する。

E欄：管理番号

道路情報装置の管理番号を記入する。

F欄：全景写真

全景写真が有れば「有」、無ければ「無」を選択する。

G欄：表示板種類1

表示板種類を、「表示板(横型)」「表示板(縦型)」「可変式規制標識」「注意灯(信号灯型)」の中から選択する。

H欄：表示板種別1

表示板種別を、「LED」「字幕」「なし」の中から選択する。

※表示板種類が注意灯については「なし」を選択する。なお、表示板種別2,3も同様な扱いとする。

I欄：表示板の枚数1

G欄で選択した表示板の枚数を選択する。

J欄：表示板種類2

G欄で選択した表示板と異なる道路情報提供装置がある場合、G欄にならって該当するものを選択する。

K欄：表示板種別 2

J欄を記入した場合、H欄にならって該当するものを選択する。ただし、あらかじめJ欄“道路情報提供装置種類 2”を選択する。

L欄：表示板の枚数 2

J欄で選択した表示板の枚数を選択する。

M欄：表示板種類 3

G欄、J欄で選択した表示板と異なる道路情報提供装置がある場合、G欄にならって該当するものを選択する。

N欄：表示板種別 3

M欄を記入した場合、H欄にならって該当するものを選択する。ただし、あらかじめM欄“道路情報提供装置種類 3”を選択する。

O欄：表示板の枚数 3

M欄で選択した表示板の枚数を選択する。

P欄：水位計種別

水位計種別を「電極式」「超音波式」の中から選択する。

Q欄：遮断機種別

遮断機種別を記入する。

記入例：エアー遮断器

R欄：制御器台数

制御器台数を選択する。

S欄：設置年月日

設置年月日を西暦で記入する。不明の場合は、空欄とする。

例) ○2014/4/1 ×平成 26 年 4 月 1 日 ×20140401 ×260401 ×2014. 4. 1 ×H26. 4. 1

T欄：設置者

設置者が道路管理者の場合は「道路管理者」、その他の場合は「その他」を選択する。

U欄：設置方式

「単独」、「添架」のうち、該当するものを選択する。

※「単独」とは、単独の支柱で設置されているものをいう。

※「添架」とは、本市管理の道路情報提供装置支柱以外に設置されているものをいう。

V欄：設置形式

「単柱」、「複柱」、「オーバーハング」、「オーバーヘッド」のうち、該当するものを選択する。

※「単柱」とは、道路情報提供装置が 1 本の支柱のみで支えられている形式をいう。

※「複柱」とは、道路情報提供装置が 2 本の支柱のみで支えられている形式をいう。

※「オーバーハング」とは、片持ち式（F-1 型、F-2 型等）をいう。

※「オーバーヘッド」とは、門型形式（トラス型、アーチ型）をいう。

W欄：添架対象

U欄で「添架」を選択した場合は、カルバート等の添架対象施設を記入する。本市管理の道路照明など固有 ID を有しているものは、固有 ID を記入する。ここで、本マニュアル

が意味する“固有ID”とは、本市が管理する次の構造物に付与されたものとし、その例を表-3に示す。

例) 信号柱, 中電柱, L0100001 (道路照明の場合) 等

表-3 固有IDの例

構造物	固有IDの例
道路道路情報提供装置	S0201234
道路照明	L0505678
道路反射鏡	m080321
歩道橋	H1102
道路情報提供装置	D1402345
カルバート	C0102002
のり面・擁壁	N1602525

X欄：道路種別

「高速自動車道」、「一般国道（指定区間）」、「一般国道（指定区間外）」、「主要県道」、「一般県道」、「主要市道」、「一般市道（1級）」、「一般市道（2級）」、「一般市道（その他）」、「自転車歩行者専用道」、「未認定道路（公有道路）」、「その他」のうち該当するものから選択する。交差点等で複数路線にまたがる場合は上位路線を選択する。

Y欄：路線名

認定路線名を記入する。認定されていない路線の場合は「未認定」と記入する。交差点等で複数路線にまたがる場合は上位路線を選択する。

Z欄：道路番号

道路番号を記入する。（認定道路の場合）交差点等で複数路線にまたがる場合は上位路線を選択する。

AA欄：幅員

設置位置での道路の幅員(m)を小数点第一位まで記入する。（数値のみ）交差点等で複数路線にまたがる場合は上位路線を選択する。

例) 12.0

AB欄：緊急輸送道路

緊急輸送道路の区分に応じて、「1次」、「2次」、「指定なし」のうち該当するものから選択する。交差点等で複数路線にまたがる場合は上位路線を選択する。

AC欄：施設名称

施設名称（アンダーパス名）を記入する。

AD欄：設置場所

設置場所を〇〇区町名まで記入する。



#### A E 欄：設置位置

本欄を選択する場合は、あらかじめV欄“設置形式”を選択する。

V欄で「オーバーヘッド」を選択した場合は、道路情報提供装置支柱の設置位置について、「歩道・中央帯」、「歩道・歩道」のうち、該当するものを選択する。「オーバーヘッド」以外を選択した場合は、「路肩」、「歩道」、「中央帯」のうち、該当するものを選択する。

#### A F 欄：路面からのクリアランス

道路面から道路情報提供装置板下端までのクリアランス(m)を小数点第一位まで記入する。  
(数値のみ)

例) 5.0

#### A G 欄：基礎形式

「埋込型」、「ベースプレート型」、「添架型」、「その他」のうち、該当するものを選択する。

#### A H 欄：基礎寸法

基礎寸法(mm)を記入する。

例) 1000mm×1000mm×2500mm

#### A I 欄：支柱形式

本欄を選択する場合は、あらかじめU欄“設置方式”を選択する。

「トラス型門柱」、「アーチ型門柱」、「F-1型」、「F-2型」、「吊下型」、「T(Y)型」、「単柱型」、「複柱型」、「支柱なし」、「その他」のうち、該当するものを選択する。※R欄で、「添架」を選択した道路情報提供装置は、「支柱なし」を選択する。

#### A J 欄：支柱寸法

支柱寸法(mm)を記入する。

例)  $\phi 355.6\text{mm} \times t7.9\text{mm} \times L7625\text{mm}$

#### A K 欄：支柱の材質

支柱の材質を記入する。

例) 一般構造用炭素鋼鋼管、ステンレス鋼 等

#### A L 欄：支柱の表面処理

支柱の表面処理（塗装仕様、溶融亜鉛めっき）を記入する。

例) 溶融亜鉛めっき(HDZ45)、塗装(フッ素樹脂系塗料)、溶融亜鉛めっき(HDZ45)+塗装(フッ素樹脂系塗料) 等

#### A M 欄：緯度

支柱の位置で計測し、支柱が道路の両側にある場合は、いずれかの支柱の位置で計測して、世界測地系のDMS形式( $dd^{\circ} mm' ss.s''$ )で、「0.1秒」単位まで記入する。

支柱の位置で計測する。(0.1秒で約3mのズレが生じます)

例)  $\odot 35^{\circ} 10' 48.8'' \times 35 \text{度} 10 \text{分} 48.8 \text{秒} \times 35.10488 \times \text{日本測地系}$

#### A N 欄：経度

支柱の位置で計測し、支柱が道路の両側にある場合は、いずれかの支柱の位置で計測して、世界測地系のDMS形式( $dd^{\circ} mm' ss.s''$ )で、「0.1秒」単位まで記入する。

支柱の位置で計測する。(0.1秒で約3mのズレが生じます)

例)  $\odot 136^{\circ} 57' 21.4'' \times 136 \text{度} 57 \text{分} 21.4 \text{秒} \times 136.57214 \times \text{日本測地系}$

※一般的な Yahoo 地図や Google マップ等を使用して緯度・経度を得ようとする場合は、座標値が世界測地系 WGS84 形式（例 35. 221717, 136. 902968）となるため、A O 欄“緯度”、A P 欄“経度”の記入にあたっては座標値を世界測地系 DMS 形式（例 35° 13' 18. 2" , 136° 54' 10. 7"）へ変換する必要があります。本市職員は維持管理支援システムから直接 DMS 形式の座標値を得ることが可能です。

A O 欄：地際部種別

「土砂」、「C o」、「A s」、「I L B」、「露出」、「その他」のうち、該当するものを選択する。

※露出とは、ベースプレートが路面に露出している場合をいう。

A P 欄：占用物件

占用物件がある場合は、占用物件をすべて記入する。

例) 警察管理の規制標識 等

A Q 欄：お客様番号

電力会社との契約のお客様番号を記載する。

A R 欄：お客様名称

電力会社の契約のお客様名称を記載する。

A S 欄：点検年月日

点検の実施年月日を西暦で記入する。

点検・措置記録表（P. 16～18 を参照）を作成した場合は、点検・措置記録表に記載した点検の実施年月日を西暦で記入する。

例) ○2014/4/1 ×平成 26 年 4 月 1 日 ×20140401 ×260401 ×2014. 4. 1 ×H26. 4. 1

A T 欄：点検種別

点検種別について表－4 に従い該当するものを選択する。

表－4 点検種別の例

点検種別	定 義
定期点検	5年や10年毎に定期的に行う点検
通常点検	道路パトロール等で行う点検
初期点検	設置後1年以内に行う点検
緊急点検	緊急に行う点検
詳細点検	定期点検等により異常が見つかり、さらに詳細な点検を実施する必要がある場合に行う点検

A U 欄：点検要領

点検に使用した要領等を記入する。

例) 附属物（標識、照明施設等）点検要領

（平成 26 年 6 月 国土交通省道路局国道・防災課） 等

A V 欄：業務件名

点検業務等の件名を記入する。本市職員による点検の場合は「直営業務」と記入する。

**AW欄：点検者名**

点検業務の受注者名を記入する。本市職員による点検の場合は「職員」と記入する。

**AX欄：修繕年月日**

措置の実施年月日を西暦で記入する。

点検・措置記録表（P. 16～18を参照）を作成した場合は、点検・措置記録表に記載した措置の実施年月日を西暦で記入する。

例) ○2014/4/1 ×平成26年4月1日 ×20140401 ×260401 ×2014.4.1 ×H26.4.1

**AY欄：修繕内容**

修繕内容を記入する。複数ある場合には半角の、（コンマ）で区切って記入する。

例) 塗装, ボルト交換, 道路情報提供装置板取替 等

**AZ欄：工事費**

新設、引継、更新の場合は新設に要した工事費（千円）、修繕、移設の場合は、塗装等の修繕に要した工事費（千円）を千円まるめで記入する。複数の道路情報提供装置の新設、修繕等を行った工事については、当該道路情報提供装置の工事費を記入する。（数値のみ）

**BA欄：工事件名**

管理者発注工事の場合は、設置工事又は修繕工事等の件名を記入し、本市職員が実施した工事の場合は「直営工事」、管理者工事以外の場合は「承認工事」、「占用工事」、「区画整理」、「開発行為」「その他」（寄附等）のうち、該当するものを記入する。

**BB欄：施工者名**

設置工事、修繕工事等の受注者名を記入する。AV欄で「直営工事」と記入の場合は「職員」と記入する。

**BC欄：健全度区分**

点検又は修繕等に基づいた健全度区分を表－5に従い該当するものを選択する。

表－5 健全度区分と定義

健全度区分	定義
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

参考資料:トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示  
(平成26年国土交通省告示第426号)

**BD～BI欄：部材毎の健全性の診断区分**

部材毎の健全性の診断区分を選択する。区分は、BC欄“健全度区分”を参照する。

B J 欄：点検結果 機器

機器の点検結果を記載する。

B K 欄：廃止理由

道路情報提供装置を撤去廃止した理由を記入する。

例)「老朽化により更新」、「事故により更新」、「単純撤去」、「錯誤」、「表示内容の変更により更新」等を記入する。

B L 欄：備考 1

その他、補足説明等が必要な場合に記入する。

B M 欄：備考 2

その他、補足説明等が必要な場合に記入する。

B N 欄：備考 3

その他、補足説明等が必要な場合に記入する。

※本マニュアルに記載のないこと、その他疑義が生じた場合は、土木事務所担当者（監督員）と協議すること。

## 4. 提出データのファイル名、フォルダ構成等について

(1) 新設・引継・更新の場合（固有 ID が無いケース）

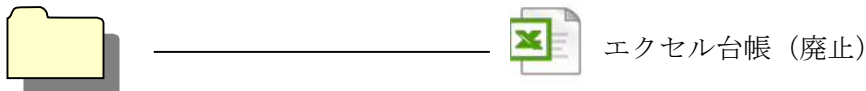


※各ファイルの項目は必ず「\_」（アンダーバー）で区切ること。

日付は yyyyymmdd 形式（西暦で8桁表示）とし、エクセル台帳「B 欄」と合わせること。

写真が複数ある場合にはファイル名の最後にファイル名+\_通し番号を振ること。

(2) 廃止の場合（固有 ID が有るケース）



廃止\_施設名\_区番号\_提出日  
(例：廃止\_道路情報提供装置\_01\_20140401)

(3) 修繕・移設・錯誤・点検の場合（固有 ID が有るケース）



変更\_施設名\_区番号\_提出日  
(例：変更\_道路情報提供装置\_01\_20140401)



※各ファイルの項目は必ず「\_」（アンダーバー）で区切ること。

日付は yyyyymmdd 形式（西暦で8桁表示）とし、Excel 台帳「B 欄」と合わせること。

写真が複数ある場合にはファイル名の最後にファイル名+\_通し番号を振ること。

## 5. エクセル台帳の記載項目

入力が必要な項目      ◎必須、○該当する項目があれば必須

△必要に応じて記入（既存データに誤りがある場合や空欄の場合等）

－入力不要（空欄にしておく項目）

項目	新設	引継	更新	廃止	変更			
					修繕	移設	錯誤	点検
A 補正区分	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B 年月日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
C 固有ID	－	－	－	◎	◎	◎	◎	◎
D 土木事務所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
E 管理番号	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
F 全景写真	○	○	○	－	△	△	△	△
G 表示板種類1	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
H 表示板種別1	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
I 表示板の枚数1	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
J 表示板種類2	○	○	○	－	△	△	△	△
K 表示板種別2	○	○	○	－	△	△	△	△
L 表示板の枚数2	○	○	○	－	△	△	△	△
M 表示板種類3	○	○	○	－	△	△	△	△
N 表示板種別3	○	○	○	－	△	△	△	△
O 表示板の枚数3	○	○	○	－	△	△	△	△
P 水位計種別	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
Q 遮断機種別	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
R 制御器台数	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
S 設置年月日	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
T 設置者	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
U 設置方式	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
V 設置形式	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
W 添架対象	○	○	○	－	△	△	△	△
X 道路種別	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
Y 路線名	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
Z 道路番号	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
AA 幅員	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
AB 緊急輸送道路	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
AC 施設名称	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
AD 設置場所	◎	◎	◎	－	△	△	△	△
AE 設置位置	◎	◎	◎	－	△	△	△	△

項目	新設	引継	更新	廃止	変更				
					修繕	移設	錯誤	点検	
AF	路面からのクリアランス	◎	◎	◎	—	△	△	△	△
AG	基礎形式	○	○	○	—	△	△	△	△
AH	基礎寸法	○	○	○	—	△	△	△	△
AI	支柱形式	○	○	○	—	△	△	△	△
AJ	支柱寸法	○	○	○	—	△	△	△	△
AK	支柱の材質	○	○	○	—	△	△	△	△
AL	支柱の表面処理	○	○	○	—	△	△	△	△
AM	緯度	◎	◎	◎	—	△	◎	△	△
AN	経度	◎	◎	◎	—	△	◎	△	△
AO	地際部種別	○	○	○	—	○	○	△	△
AP	占用物件	○	○	○	—	○	○	△	△
AQ	お客様番号	◎	◎	◎	—	△	△	△	△
AR	お客様名称	◎	◎	◎	—	△	△	△	△
AS	点検年月日	—	○	—	—	○	△	△	◎
AT	点検種別	—	○	—	—	○	△	△	◎
AU	点検要領	—	○	—	—	○	△	△	◎
AV	業務件名	—	○	—	—	○	△	△	◎
AW	点検者名	—	○	—	—	○	△	△	◎
AX	修繕年月日	—	—	—	—	◎	△	△	—
AY	修繕内容	—	—	—	—	◎	△	△	—
AZ	工事費	◎	◎	◎	—	◎	◎	△	—
BA	工事件名	◎	◎	◎	—	◎	◎	△	—
BB	施工者名	◎	◎	◎	—	◎	◎	△	—
BC	健全度区分	—	○	—	—	◎	△	△	◎
BD	健全性の診断区分 支柱	—	○	—	—	○	△	△	○
BE	健全性の診断区分 横梁	—	○	—	—	○	△	△	○
BF	健全性の診断区分 標識板 1	—	○	—	—	○	△	△	○
BG	健全性の診断区分 標識板 2	—	○	—	—	○	△	△	○
BH	健全性の診断区分 標識板 3	—	○	—	—	○	△	△	○
BI	健全性の診断区分 基礎	—	○	—	—	○	△	△	○
BJ	点検結果 機器	—	—	—	—	—	—	—	◎
BK	廃止理由	—	—	—	◎	—	—	—	—
BL	備考 1	△	△	△	△	△	△	△	△
BM	備考 2	△	△	△	△	△	△	△	△
BM	備考 3	△	△	△	△	△	△	△	△



## 6. 参考資料

### (1) 点検・措置記録表 (参考資料)

表-3 点検記録表

(1)基本情報																					
附属物名	道路情報装置			行政区	東																
路線名	東大曾根山田東線第1号			所在地	矢田南五丁目地内																
設置年月日	不明			整理番号	1-sta																
管理番号	1			緯度	35° 11' 27.5"	経度	136° 56' 11.6"														
(2)構造情報																					
支柱形式	F型			基礎形式	埋込型																
地際部の種別	ILB			表面処理形式	めっき式																
ゆるみ止め対策	有			合いマーク	今回実施																
柱基礎の継手部用上対策	当該なし			-																	
(3)環境情報																					
設置箇所	一般部			海岸からの距離	16km																
(4)路線情報																					
凍結防止剤の散布	該当なし			-																	
(5)点検情報																					
点検年月日	2013年7月1日			点検種別	定期点検																
(6)点検結果																					
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備考				
				き裂	ゆるみ-割傷	破断	腐食	変形-欠損	滲水	その他	剥離	増量	剥離	増量	剥離			増量			
柱脚部	リブ取付 溶接部	Br	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
	柱・ベース プレート 溶接部	Bp	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
	ベースプ レート 取付部	Bb	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
アンカー ボルト・ ナット	Ab	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-
柱・基礎 境界部	Pb	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
基礎コン クリート部	Bc	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
路面 境界部	a-c	St	-	I	-	-	-	-	I	I	-	-	I	-	-	-	否				
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	
開口部	電気設備 用開口部 本体	Hh	St	-	I	-	-	-	-	I	I	-	-	I	-	-	否				
	電気設備 用開口部 ボルト	Hb	St	-	I	-	I	-	I	-	I	-	-	I	-	-	否				
	支柱内部	Pi	St	-	-	-	-	-	-	I	-	-	-	I	-	I	否				

続き

点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備考			
				き裂		ゆよみ・変形		破断		腐食		変形・欠損		漏水				その他		
				検出	措置	検出	措置	検出	措置	検出	措置	検出	措置	検出	措置			検出	措置	
支柱 上部	横梁仕口 溶接部	Bw	St	01	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	-	-	I	-	否	
				02	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	-	-	I	-		
				03	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	-	-	I	-		
				04	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	-	-	I	-		
	横梁 取付部	Bi	St	01	I	-	I	7	I	-	I	-	I	-	-	I	-	否		
				02	I	-	I	7	I	-	I	-	I	-	-	I	-			
				03	I	-	I	7	I	-	I	-	I	-	-	I	-			
				04	I	-	I	7	I	-	I	-	I	-	-	I	-			
	現場 溶接部	Fw	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	横梁トラス 溶接部	T w	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	横梁 分岐部	Bj	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	支柱本体	Ph	St	-	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	-	-	I	-	否	
支柱 継手部	Pj	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
横梁本体	Bh	St	-	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	-	-	I	-	否		
横梁トラス 本体	Th	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
取付部	標識板及 び標識板 取付部	Rs	St	-	I	-	I	7	I	-	I	-	I	-	-	I	-	否		
	灯具及び 灯具 取付部	Li	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ブラ ケット 取付部	ブラケット 取付部	Bri	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ブラケット 本体	Brh	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	バンド部 (共架型)	Bn	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配線部分	Wi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(7)その他特記事項																				

続き

(1) 基本情報					
附属物名	道路情報装置	行政区	東		
路線名	東大管根山田東線第1号	所在地	矢田南五丁目地内		
設置年月日	不明	整理番号	1-a+a'		
管理番号	1	緯度	35°11'27.5"	経度	136°56'11.6"
点検部位	記号	見取図			
支柱上部	横梁仕口溶接部 上・下	Bw			
	横梁取付部 上・下	Bi			

(注1) 正面側とは構造物に正対する側を示す。なお、中央分断帯等にされているT型構造物については上り線から見て構造物に正対する側を示す  
(注2) IDは下側、または正面側から時計周りに番号を付与する。